

【VOX-BASE II インストール後のRS_Baseの設定】

(127)(a) Dicom ファイルリストのテキストを引数で立ちあげるソフト(VOX-BASE等)
C:/Program Files (x86)/j-mac system/Vox-base/vbw32j.exe

クリック場所 2回段階表示 BOX-BASE & 他Viewer同時立ち上げ

(127)(a):Dicomファイルリストのテキストを引数で立ち上げるソフト(VOX-BASE等)

にて、VOX-BASEの exeのフルパスを指定しますが、VOX-BASEを既定通りにインストール後、基本情報を表示させれば、インストールホルダーを変更していない場合は、フルパスが自動で入ります。

(a) クリック場所:検査名 or 日付の指定ですが、既定は検査名です。

(b) 2段階表示:yes 最初の一枚を表示後、他の画像を読み込むようにしています。

no にすると、胸部写真でも、表示枚数が多いと、4-6分割に表示されます。

まずは、yes とし、no表示だとどうなるかは後から試してみてください。

(c) 他Viewerの立ち上げ:既定は no です。

yesにするとVOX-BASEと共に日付をクリックして 起動するViewerも同時に立ち上がります。

尚、VOX-BASE と ApolloViewLite の両方が立ち上がると、閉じるのに手間がかかりますが、その場合、http://localhost/~rsn/gamma.cgi?ApolloViewLite_delete のリンクを作って、クリックすると、VOX-BASE, ApolloViewLite,RS_Viewer,ViewPlus.exe のプログラムがクローズします。

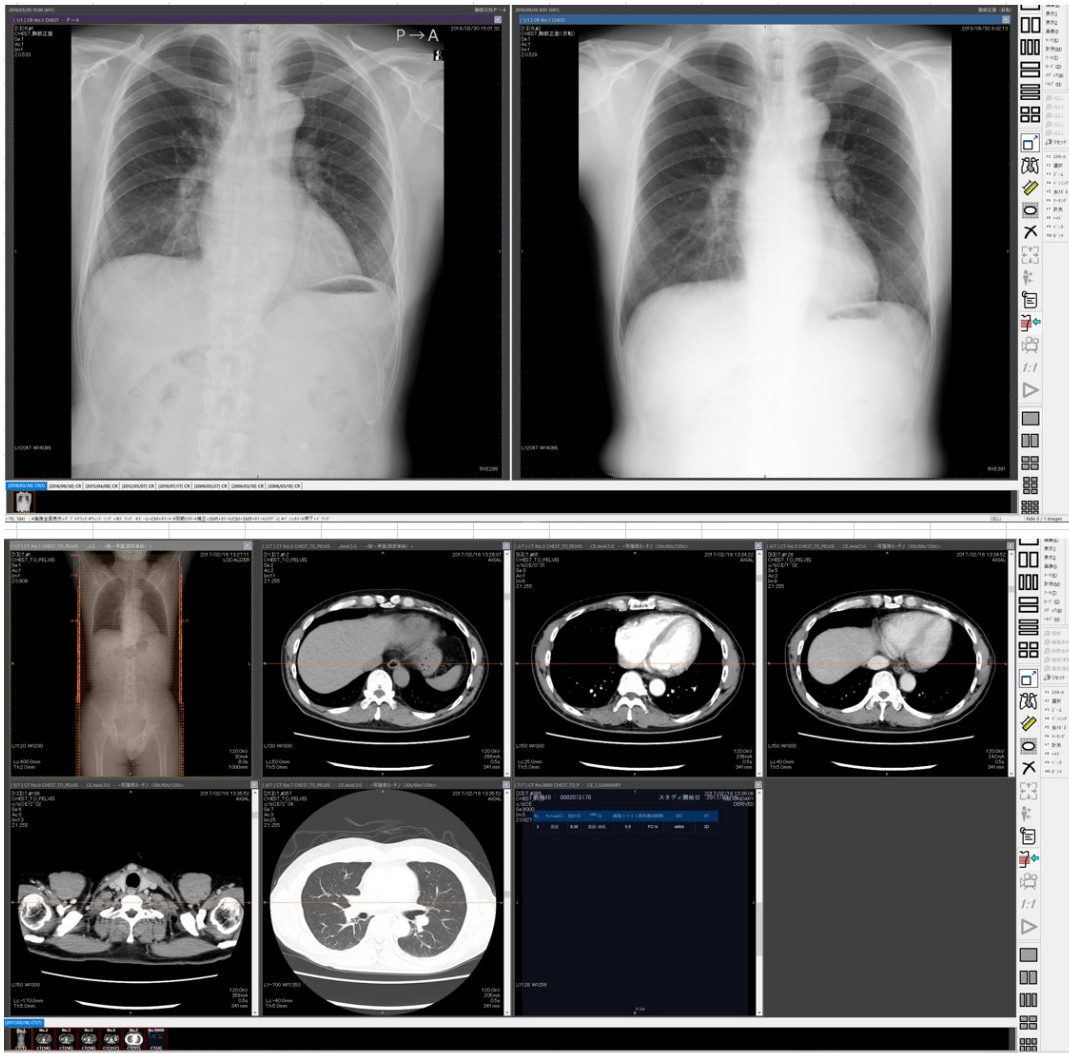
【日付クリック時にどの Viewerを表示させるか】

(124) DICOM(検査名クリック) RSViewerを使用 RSViewer or ApolloViewLiteでCTRを診断に追加
外部ソフトをポップアップ命令で開く

VOX-BASEを検査名クリックで立ち上がるように指定した場合、今まで検査名クリックで立ち上げていたviewerは立ち上がらなくなります。VOX-BASE と RS_Viewerは表示が似通っているため、日付クリックでは、ApolloViewLite を立ち上げるのがベターかも知れません。

【VOX-BASE IIのアイコンボタンのカスタマイズ方法】

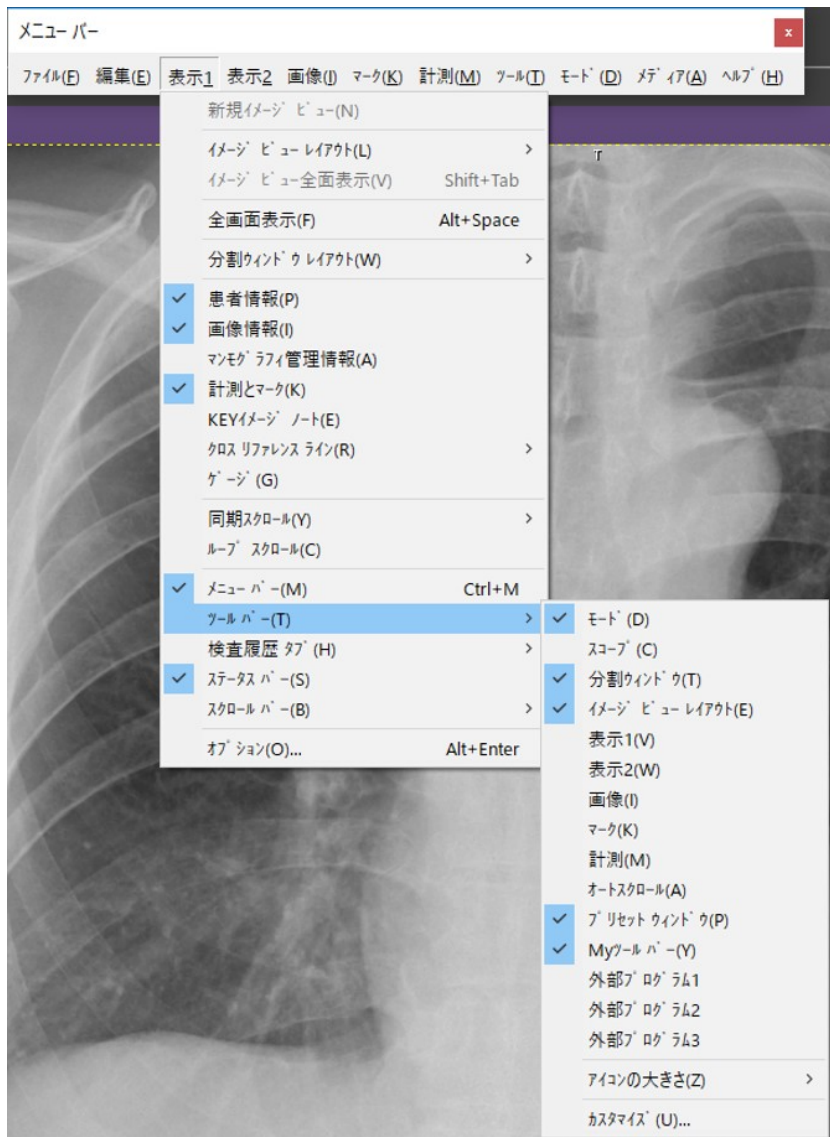
★VOX-BASEでのDicom画像表示



RS_Baseからの起動では、胸部写真、CT、MRの違いによって、初期表示の行列などを指定出来ないために、RS_Baseからの起動方法を少しだけ工夫して胸部写真、CTにて、本画像の様な表示形態になるようにしています。

(モダリティ、シリーズ番号等を指定して、検査によって表示を変更する機能はあるようなのですが、RS_Baseから全画像のシリーズをリアルタイムに拾うことは事実上不可能なので致し方ありません)

★機能アイコンの表示、非表示指定。

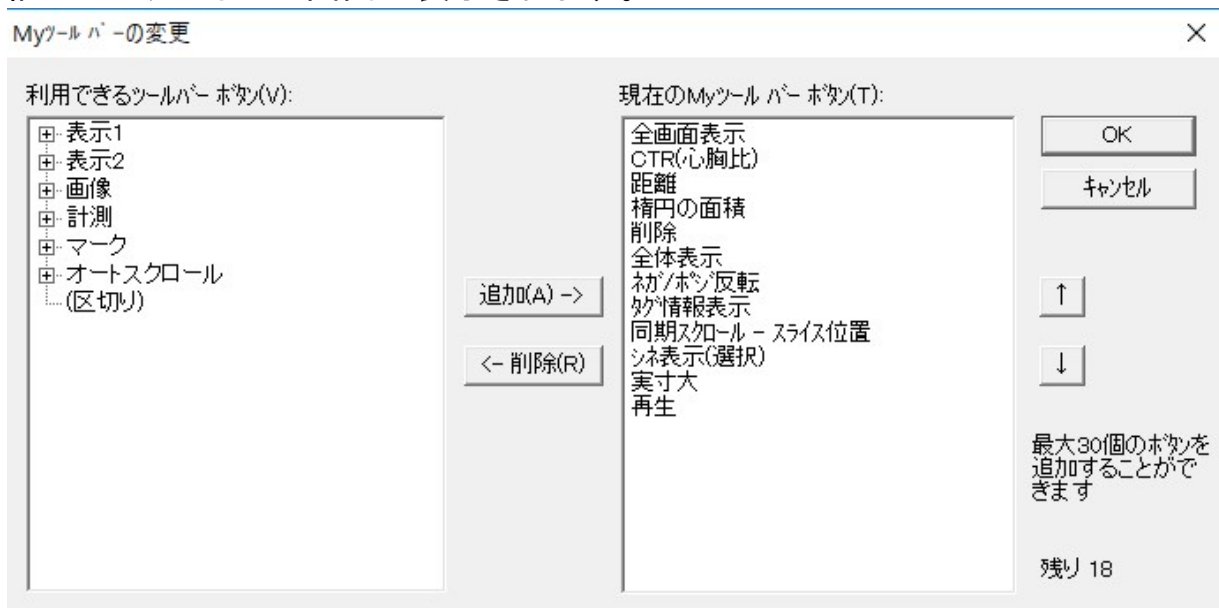


上部アイコンのカスタマイズ方法ですが、全画面表示に関しては、表示1 をクリックした最初のメニューのチェックの有無で、操作アイコンの表示非表示が変わりますが、全画面ではない、画面内のwindowサイズでは(通常こちらの使用になるかと思いますが)、表示1、ツールバー(T) の指定にて、アイコンの表示、非表示が変わります。

★ユーザーアイコンのカスタマイズ。

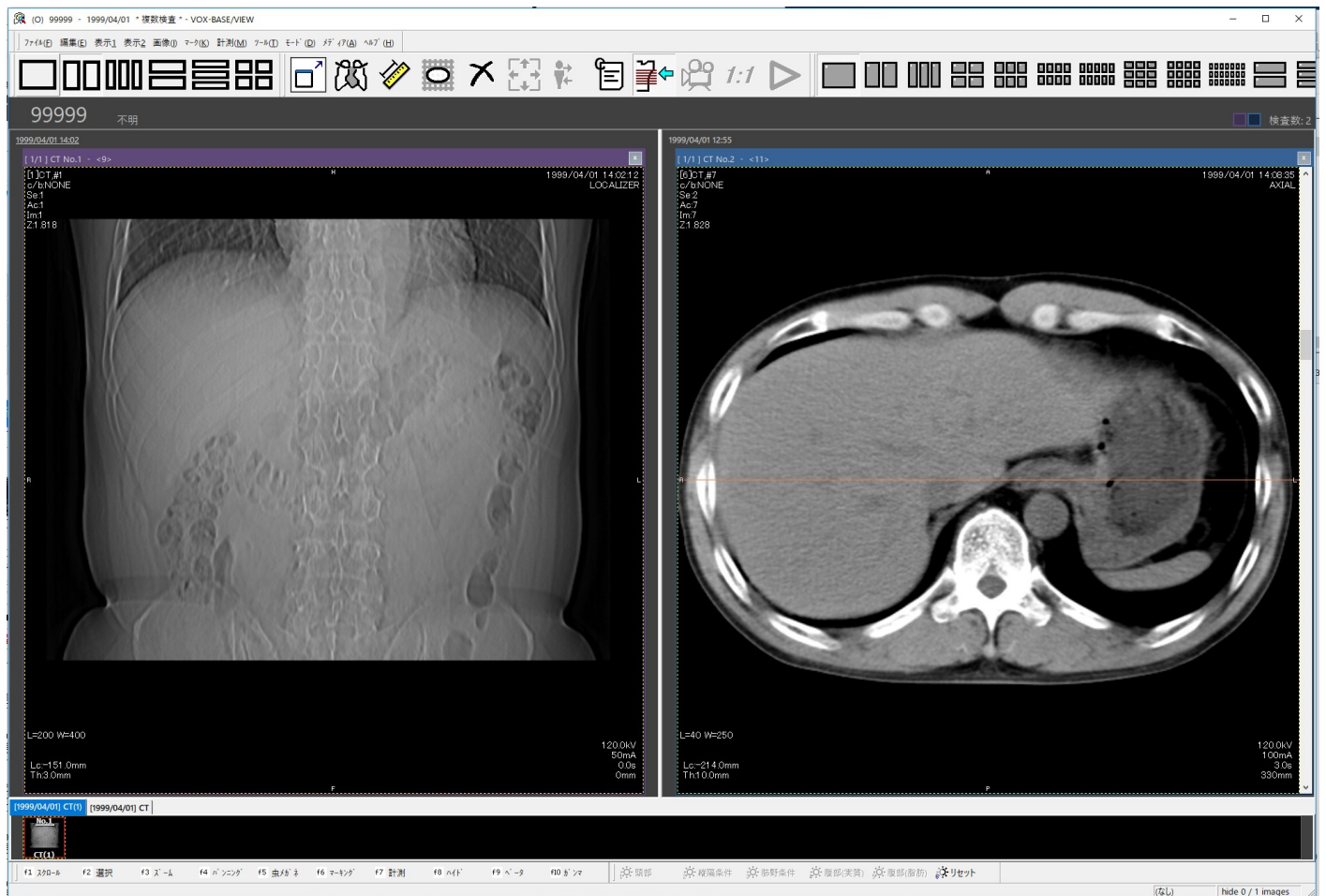


ユーザーアイコンのカスタマイズには、表示1、ツールバー、カスタマイズと表示させると、下記のカスタマイズの画面が表示されます。



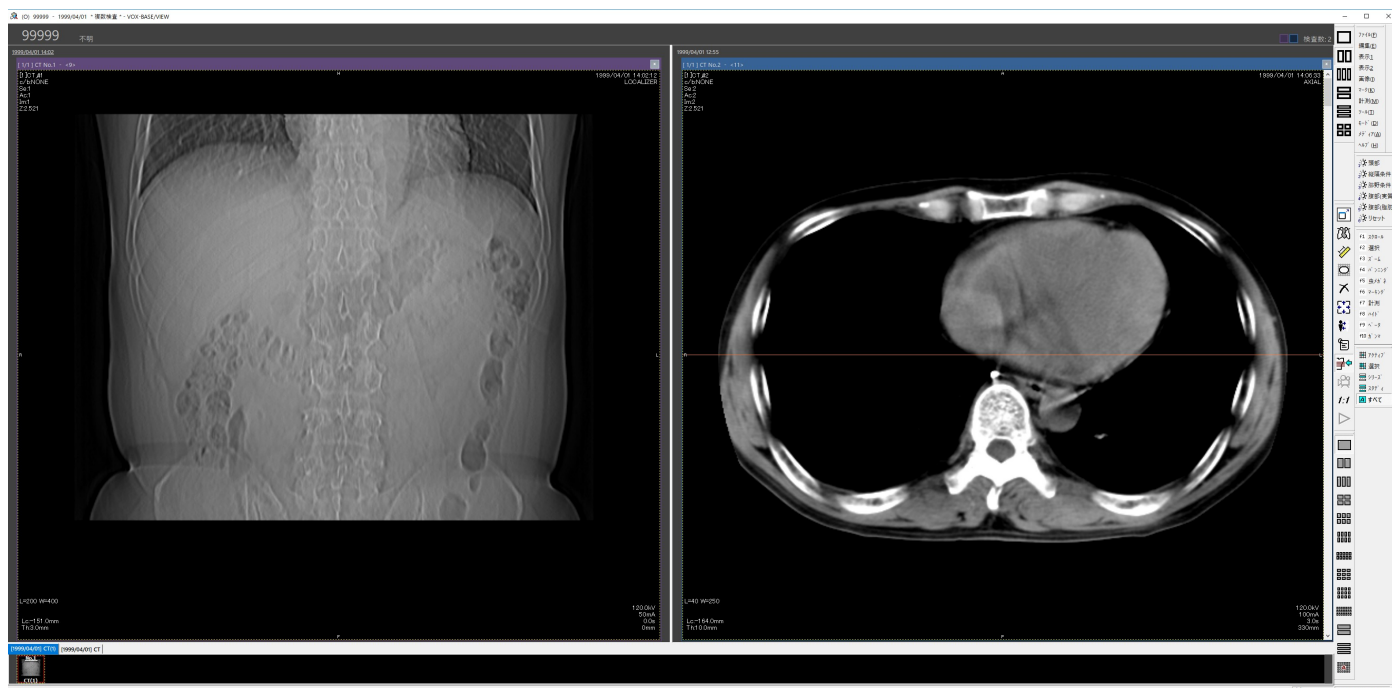
本画面で、ユーザーアイコンとして何のボタンを表示するか指定できます。

★アイコンを上部に表示させる。



アイコンの表示、非表示を 表示1、ツールバーで指定して、アイコンの場所を好みで変えると、上記のような感じになります。

★アイコン、メニューを右側に表示させる。



横の長さがあまっているディスプレイを使用されている場合は、アイコン群の最初の部分あたりをマウスでつかんで、左右に移動させることができます。

横長ディスプレイでは、アイコンを左右に移動した方が、縦表示領域が長くなりますので、胸部写真などが少し大きく表示されます。